

本の表紙



Q.1

エルマーがりゅうを助けるためにもっていた道具で、ライオンから逃げる時に使ったものは何でしょう。つぎの中からえらびましょう。

チューインガム

くしとブラシ

ハブラシ

(総社市立総社小学校 2年生)

こんな本です

いろいろな動物に会ったところがおもしろかったです。りゅうの背中に乗って旅をしたところがすごいと思いました。(早島町立早島小学校 1年生)



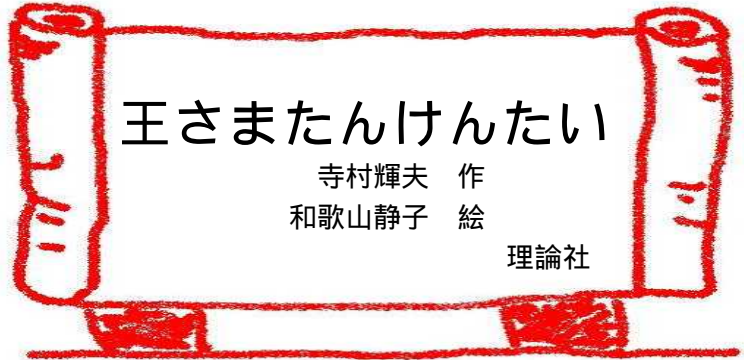
エルマーはねこに聞いて、ひとりでりゅうの子どもを助けに動物島に行きます。おそろしい動物たちにも、知恵をはたらかせてりゅうを助けます。次はどんなことがあるのかときどきして、楽しいお話です。(岡山市立富山小学校 2年生)

『エルマーのぼうけん』の続きについて

『エルマーとりゅう』は『エルマーのぼうけん』の続編です。無事に動物島を脱出したエルマーとりゅうが「知りたがり病」という病気をめぐって大活躍します。

また、『エルマーと16ぴきのりゅう』は、やっと家に帰り着いたりゅうを捕まえようと人間たちがやってくるお話です。エルマーはりゅうの家族を救おうと、りゅうの家へ向かいます。エルマーのお話の完結編です。

本の表紙



Q.2

ねこはどうやってねずみを退治したのでしょうか。つぎの中からえらびましょう。

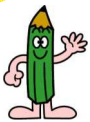
お酒を飲ませて1匹残らず飲み込んだ。

王さまに、自分のお城を作らせて、ねずみを1匹ずつ運ばせるように命令した。それを聞いたねずみは、自然とこわくなって逃げていった。

ねずみより多いねこの仲間を集めて、1匹ずつつかまえた。

(倉敷市立第二福田小学校 2年生)

この本 だいすき



王さまは、いつも失敗ばかりするけれど、いろいろなことに挑戦する姿が楽しいです。王さまの本は、何冊もあって、次から次へと読んでしまいます。だからわたしは、この本が大好きです。

(倉敷市立第二福田小学校 2年生)

不思議なお話でした。王さまがわがままなのがおもしろいです。いつも不思議なことが起きる話です。とっても楽しいです。

(倉敷市立中洲小学校 3年生)

王さまは、いつもドキドキの冒険をしているのですごいです。ぼくもそんなふうになりたいです。

(金光町立金光吉備小学校 5年生)

王さまシリーズの本は、みなさんの学校の図書館にもたくさんあります。読んでみましょう。

『ぼくは王さま』、『王さまばんざい』、『王さまロボット』、『王さまびっくり』、

『王さまめいたんてい』、『王さまレストラン』、『王さまパトロール』、

『まほうつかいのチョコチョコ』、『王さまかいぞくせん』(いずれも理論社)など。

本の表紙

おおきくなったら

森山 京 さく 芭蕉みどり え
ポプラ社

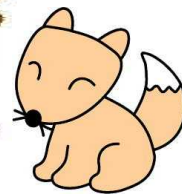
Q.3

きつねのこは、どうしてゆうびんやさんになるのをやめたのでしょうか。
つぎの中からえらびましょう。

計算^{けいさん}ができないから
自転車^{じてんしゃ}の
に乗れないから
字^よが読めないから

(山手村立山手小学校 1年生)

「リスちゃんは、大工^{だいく}さん。うさぎちゃんは、
かごふさん。ぼくは何^{なに}になるのかな。」きつねの
子の夢^{ゆめ}は大きくふくらんだり、しぼんだり…。
ゆるるきつねの子の気持ち^{きもち}がよくわかるお話し^{はなし}
です。 (作成委員会)



ほかにも……

森山京^{さくひん}さんの作品には、

『きいろいばけつ』(あかね書房)などの「きつねのこ」シリーズ、
『あしたもよかった』(小峰書店)、
『ながいながいおるすばん』(ポプラ社)、
『きつねのきのじ』(ポプラ社)など多数^{たすう}あります。

ほのぼのとしていて、心^{こころ}あたたまるお話し^{はなし}ばかりです。
ぜひ読んでみてください。



本の表紙



Q.4

おさるが朝みんなと起きて一番にすることは何でしょう。
(笠岡市立神島外小学校 6年生)

★ おさるが南の島で、カニにはさまれたり、みんなと一緒に行動したりするのがおもしろかったです。途中途中にいろいろなハプニングがあるのが楽しいです。
(笠岡市立神島外小学校 6年生)

★ みんなが一緒に行動していて、とても楽しそうにみえるところが心に残りました。
(倉敷市立中洲小学校 5年生)

★ かわいいし、みんな仲良くできていていいと思います。
(倉敷市立中洲小学校 1年生)



おさるシリーズ

おさるシリーズ(講談社)には、『おさるのまいにち』、『おさるはおさる』、『おさるがおよぐ』、『おさるになるひ』、『おさるのおうさま』、『おさるのはまべ』、『おさるのもり』などがあります。南の島に住んでいるおさるさんの生き方に、ぜひふれてみてください。気持ちやゆったりとして、心があたたかくなるお話です。

いとうひろしさんの主な作品には、『だいじょうぶ だいじょうぶ』(講談社)、『ルラルさん』シリーズ(ほるぷ出版)、『ごきげんなすてご』シリーズ(徳間書店)などがあります。

本の表紙

かたあしだちょうのエルフ

おのきがく 文・絵
ポプラ社

Q.5

エルフとは、アフリカの言葉で何という意味でしょう。
(ノートルダム清心女子大学附属小学校 2年生)



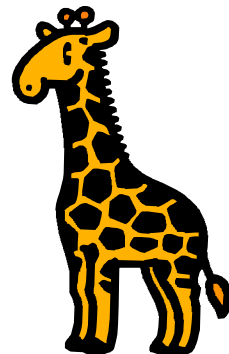
とても 感動しました

自分の体がボロボロになっても、子どもたちを必死で守ったエルフにとても感動しました。体が大きくて強いということよりも、本当にやさしいという心の強さのほうはずっとすごいと思いました。

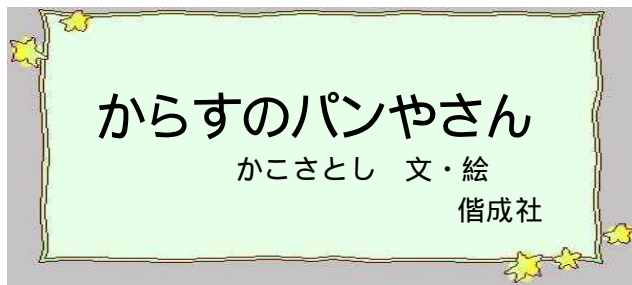
(ノートルダム清心女子大学附属小学校 2年生)

こんな本です

アフリカの広々とした草原。野原一面に咲く赤や黄色の花。ゆうゆうと歩くシマウマ、サイ、ライオン…。版画家のおのきがくさんが描くアフリカは、とても強烈な印象です。



本の表紙

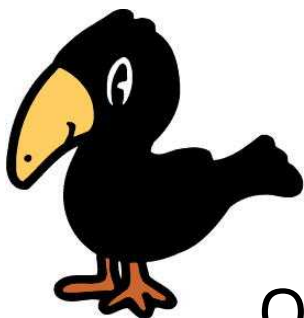


Q.6

からすのパン屋さんに4羽の赤ちゃんが生まれました。オモチちゃん、レモンちゃん、リンゴちゃん、あと1羽は何という名前でしょう。つぎの中からえらびましょう。

クリちゃん ドングリちゃん
チョコちゃん オコゲちゃん

(総社市立総社小学校 1年生)



Q.7

パンが真っ黒になったり、半焼きパンになったりしたのは、なぜでしょう。

(笠岡市立大島小学校 4年生)

いろいろな形をしたパンを作り、最後には、たくさんの方から買いにきてくれます。

寝ぼけたからすや欲張りなからす、あわてんぼうのからすなどが出てきておもしろかったです。

(備前市立伊部小学校

5年生)

あわてんぼうのゴロベエどんが、火事だとかん違いで大騒ぎになったところが楽しかったです。

(総社市立総社小学校

1年生)



かこさとしさんは、工学博士ですが、1959年『だむのおじさんたち』(福音館書店)を発表し、絵本作家としての道を歩み始めました。

本の表紙

キキ あずかります

田辺みゆき 作

徳永 健 絵

講談社

Q.8



おばあさんがかっていた「キキ」とは、どんなとり鳥でしょう。つぎの中からえらびましょう。

ヒヨコ

セキセイインコ

オウム

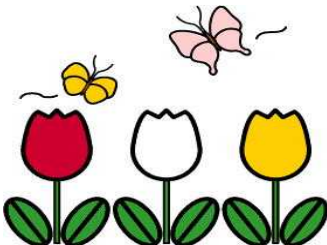
ブンチョウ

(倉敷市立連島西浦小学校 2年生)

かんだうしたよ

レミとおばあさんがとも友だちになって、
なにもしゃべれないキキに毎日「こんに
ちは」をおし教えたけれど、だめでした。おば
あさんが病びょうき気になって病びょういん院に行く日、キ
キが、「だいすきレミちゃん、ほんとにあ
りがとう」としゃべったところにとてもかんどう感動
しました。

(倉敷市立連島西浦小学校 2年生)



田辺みゆきさんのさくひん作品の多くは、
どうぶつ動物が登とうじょう場する物ものがたり語なので、どうぶつ動物が
好きな人ひとに特とくにおすすめします。

主な作品には、

『わすれないゼローラ』(大日本図書)、

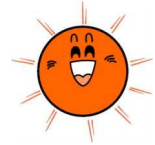
『すてネコのらネコうちのネコ』(講談社)

などがあります。

本の表紙

くまのベアールとちいさなタタン きょうはピクニック

原 京子 作
はたこうしろう 絵
ポプラ社



Q.9

ベアールとタタンが作ったドーナッツはどこに落ちたでしょう。
つぎの中からえらびましょう。

もぐらさんのおうち
りすさんのおうち
ありさんのおうち

(岡山市立陵南小学校 1年生)

心にのこりました

ベアールとタタンがピクニックに行くために作ったドーナッツを、出かける前にふたりで全部食べちゃったところがおもしろかったです。

(岡山市立陵南小学校 1年生)



ベアールとタタンのお話は、この他にもあります。
『くまのベアールとちいさなタタンおいしいおうち』、
『くまのベアールとちいさなタタンうみへいこうよ』、
『くまのベアールとちいさなタタンとまりにおいでよ』、
『くまのベアールとちいさなタタンこわがりおばけ』
(いずれもポプラ社) どれも楽しいお話ばかりです。

本の表紙

コーネリアス

レオ = レオニ 作

谷川俊太郎 訳

好学社

Q.10



コーネリアスに、さかだちをして木にぶらさがるのを教^{おし}えてくれたのは、だれでしょう。つぎの中からえらびましょう。

友だちのわに
チンパンジー
さる

(玉野市立荘内小学校 2年生)

たのしいね!!

ふつうワニは
4本足^あで歩くのに、
コーネリアスは生まれた
とき^あから立って歩いてきたよ。
楽しい^{たの}お話^{はなし}です。

(玉野市立荘内小学校 2年生)



レオ = レオニ^{えほん}さんの絵本には、
『スイミー』、『せかいいちおおきなうち』、
『さかなはさかな』、『アレクサンダとぜんまい
ねずみ』、『ひとあしひとあし』、『じぶんだけの
いる』、『ベツエッティーノ』、『ここにいたい！
あっちへいきたい！』、『フレデリック』(好学社)
など他^{ほか}にもたくさんあるので、読^よんでみてくだ
さい。



『フレデリック』を^よんだら、つぎのクイズに挑^{ちょうせん}戦^{せん}してみましょう。

Q ほかのねずみたちが働^{はたら}いている時^{とき}、フレデリックは働^{はたら}かないで、
何^{なに}をしていたでしょう。
(倉敷市立中洲小学校 2年生)



本の表紙

コバンザメのぼうけん

灰谷健次郎 文 村上康成 絵
童心社

Q.11

およぎはへただけど、魚^{さかな}たちの病気^{びょうき}をなおして
くれる魚^{さかな}は何^{なん}でしょう。

つぎの中からえらびましょう。

たつのおとしご

マンボウ

ヒラメ



(赤坂町立石相小学校 2年生)

とてもゆかいです

コバンザメが「せけん」を
知る^しために旅^{たび}に出て、いろいろな
魚^{さかな}のひみつを発見^{はっけん}するところ
がとてもゆかかったです。

(赤坂町立石相小学校 2年生)



クジラとコバンザメは、いつも一緒^{いっしょ}で仲良^{なかよ}
しでした。ある時^{とき}、クジラに「もっとせけんをし
らなくちゃ」と言^いわれたコバンザメは、せけん
探^{さが}しの旅^{たび}に出^でます。コバンザメにとっ^とて、広^{ひろ}
い海^{うみ}の中^{なか}にはた^たくさん^{さん}の出^で会^{かい}いと発^{はっ}見^{けん}があ
りました。

灰谷健次郎^{かい}さん^{さん}は、17年^{ねん}間^{かん}、小^き学^{がく}校^{こう}教^き師^し
を勤^{つと}めた後^{のち}、退^{たい}職^{しよく}し、東^{とう}南^{なん}アジ^あア^あや沖^{おき}縄^{なわ}
の旅^{たび}をしました。

『兔^{うさぎ}の眼^{まなこ}』(理^り論^{ろん}社^{しゃ})はベ^べス^すトセ^せラー^らとな^なり、テ^てレ^れビ^び化^かや映^{えい}画^が化^かさ^される^るな^など大^{はん}き^きな反^{はん}響^{きやう}を呼^よび
ま^ました。『太^{たい}陽^{やう}の^の子^こ』(新^{しん}潮^{そう}社^{しゃ})、『ろ^ろく^くべ^べえ^えま^まつ^つて^てろ^ろよ^よ』(文^{ぶん}研^{けん}出^{しゅつ}版^{ぱん})他^{ほか}、多^た数^{すう}の作^{さく}品^{ひん}があ^あり^りま^ます。



本の表紙



Q.12

こんとあきが最初に会ったのは、いつでしょう。
(倉敷市立第二福田小学校 2年生)

Q.13

こんとあきのおばあちゃんの家がある町の名前は、何でしょう。
(岡山市立御野小学校 2年生)

こんが電車のドアにしっぽをはさまれたところが、かわいそうでした。

(倉敷市立第二福田小学校 2年生)
(岡山市立御野小学校 2年生)



こんにちは

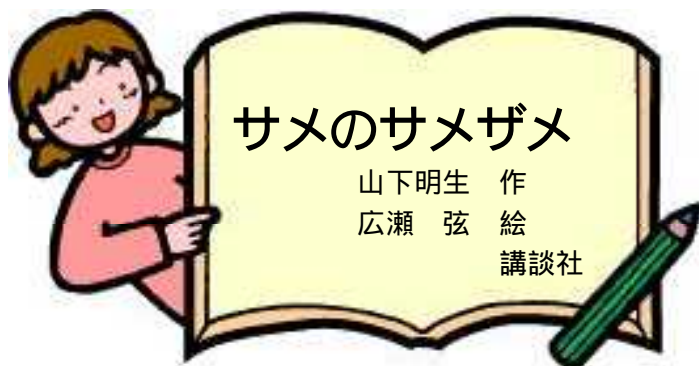


「こん」は、おばあちゃんの家から「あき」のところへやって来た、きつねのぬいぐるみです。

ある時、二人は、ほころんでしまったこんのうでをなおしてもらうために、おばあちゃんの家へと出かけます。何があっても「だいじょうぶ、だいじょうぶ」が口ぐせの「こん」なのですが、初めての二人旅。「こん」と「あき」は、おばあちゃんの家にとどり着けるのでしょうか。

林 明子さんは、1945年、東京に生まれ、現在も絵本作家として活躍中です。林さんの作品には、『はじめてのおつかい』、『おふるだいすき』(いずれも福音館書店)など、長く読み継がれている絵本があります。

本の表紙



Q.14

サメが食べた人間は、何かを身につけていました。それは何でしょう。

つぎの中からえらびましょう。

ゴム とけい
カメラ メガネ

(備前市立伊部小学校 5年生)

Q.15

サメザメが、イルカのしっぽにかみつこうとしたときになった病気は何でしょう。

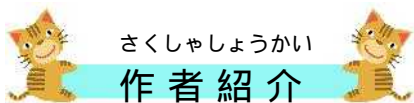
(倉敷市立西阿知小学校 2年生)

Q.16

サメザメはどこに行き、病気を治したのでしょうか。つぎの中からえらびましょう。

どうくつ 川 船の下 さかなの病院

(吉永町立神根小学校 3年生)



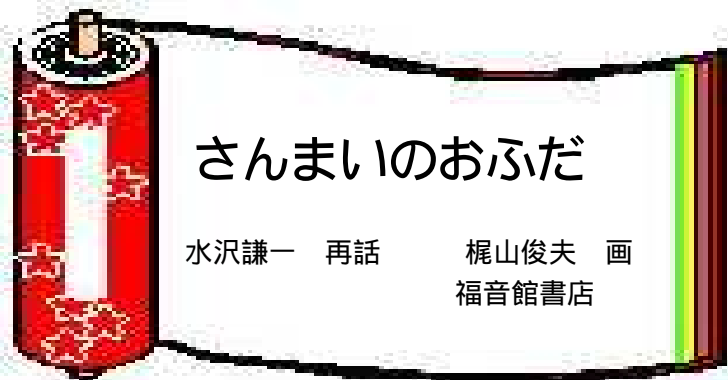
さくしゃしょうかい

作者紹介

山下明生さんは、少年時代を瀬戸内海の広島県能美島で過ごし、後の作品に描かれる海のモチーフを得ました。海で遊ぶことが好きで、大人になった今でも、クジラを見に行ったり、もぐったりしているそうです。

主な作品に、『海のコウモリ』(理論社)、『はんぶん ちょうだい』(小学館)、『いきんぼの海』(あかね書房)、『まつげの海のひこうせん』(偕成社)、『島ひきおに』(偕成社)などがあります。

本の表紙



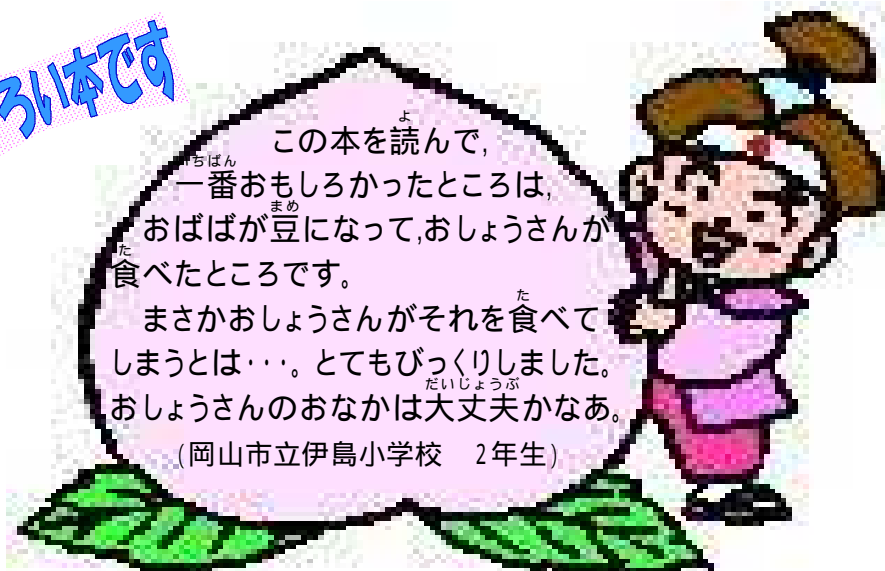
Q.17

つぎの色の中で、便所の神様がくれたさんまいのおふだにない色はどれでしょう。

赤 青 黄 白

(岡山市立伊島小学校 2年生)

おもしろい本です



水沢謙一さんは、

新潟県に住んでいて、昔話の収集や研究をしています。その他の作品には、『とんとむかしがあったけど(一)・(二)』(未来社)、『越後のシンデレラ』(野島出版)、『雪国のおばあ昔』(講談社)など多数あります。

本の表紙

しっばいのれんしゅう

宮川ひろ さく 藤田ひおこ え

PHP研究所

Q.18



まい子はスポーツが^{にがて}苦手で、何も^{なに}できなかったのですが、^{れんしゅう}練習をしてやっとできる^{なん}ようになったことは何でしょう。

(倉敷市立中洲小学校 4年生)



^{にがて}苦手なことも、^{どりょく}努力して^{すこ}少しずつ
がんばれば、いつか^{おも}きっとできるようになる
のだと思います。

(倉敷市立中洲小学校 4年生)

^{しゅじんこう}主人公のまい子は、^{しっばい}失敗を^{きら}友だちに見られるのが^は嫌いな、とても^は恥ずかしがり屋^やの女の子。学校^{ちやうれい}の朝礼で、あることを^{はっぴよう}発表^{はっぴよう}をすることになり、^{いっしょうけんめい}一生懸命^{れんしゅう}練習^{しゅう}しますが…。

宮川ひろさんの^{さくひん}作品には、

- 『天使のいる教室』、『天使たちのたんじょうかい』、
 - 『びゅんびゅんごまがまわったら』(いずれも童心社)、
 - 『てじなのかんげいかい』(PHP研究所)など、
- 学校生活^{せいかつ}を描いた^{えが}ものが^{かず}数多くあります。

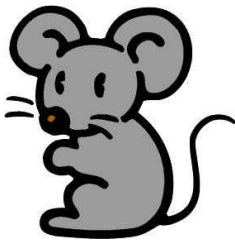


本の表紙

14ひきのおつきみ

いわむらかずお さく
童心社

Q.19



ねずみたちが、お月見のときに食べるものは何でしょう。つぎの中からえらびましょう。

あめ
だんご
チョコ
もち



(金光町立金光吉備小学校 1年生)

こころにのこりました

心に残ったところは、「おつきさん ありがとう、たくさんのみのをありがとう、やさしいひかりをありがとう。」という言葉です。

(金光町立金光吉備小学校 1年生)



14ひきシリーズは、海外14か国で翻訳出版されています。「おとうさん おかあさん おじいさん おばあさん そして きょうだい 10ひき。ぼくらは みんなで14ひき かぞく。」で始まるねずみの家族の物語です。次のような絵本があります。

『14ひきのひっこし』、『14ひきのあさごはん』、『14ひきのやまいも』、『14ひきのせんたく』、『14ひきのさむいふゆ』、『14ひきのぴくにっく』、『14ひきのおつきみ』、『14ひきのかぼちゃ』、『14ひきのこもりうた』、『14ひきのあきまつり』、『14ひきのとんぼいけ』(いずれも童心社)

『14ひきのさむいふゆ』の紹介文です。

いっくんとよっちゃんが工作をしているところと、くんちゃんがおまんじゅうのあんこを作っているところがいいです。くんちゃんは、あんこを上手に作っていました。

(瀬戸町立江西小学校 2年生)

本の表紙



じごくのそうべえ

たじまゆきひこ 作

童心社



Q.20



なぜ、そうべえは、^{じごく}地獄へ行くことになったので
しょうか。 (岡山市立伊島小学校 5年生)

Q.21

この本には、「じんどんき」という^{おに}鬼が出てきます。その「じんどんき」
のおなかの中には、いろいろなものがあります。その中のひもを引っぱっ
たり、^{ぼう}棒を引いたり、^{たま}たまをこそばかしたり、^{ふくろ}ふくろをけったりするとどう
なるでしょう。 (岡山市立御野小学校 1年生)

^{おに}鬼が「はっはっくはくしょーん」といったり、
おならをししたりしたところが楽しかったです。
(ノートルダム清心女子大学附属小学校 1年生)

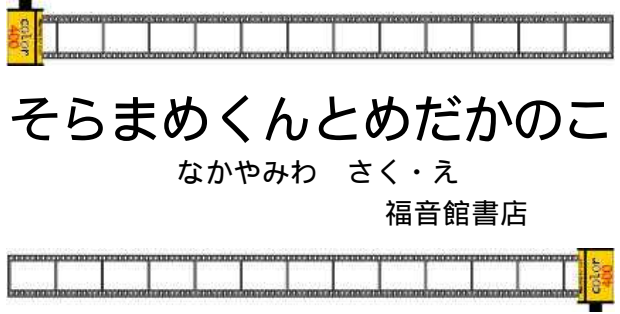
おもしろ

ほかにもあるよ 「そうべえ」の本

『じごくのそうべえ』の第2作『そうべえごくらへいく』(童心社)では、^{かぜ}風に吹き飛ばされ
てまたもあの世へ行き、^よ今度は、^{じごく}地獄ととなり合わせの^{ごくら}極楽へ…。またまた、てんや
わんやの^{だいそうどう}大騒動。

第3作『そうべえまっくろけのけ』(童心社)では、うさぎ男に連れられてお月^{さま}様のもと
へ…。楽しいお話です。

本の表紙



Q.22

そらまめくんたちが、迷子^{まいご}になっためだかのこ^{たす}を助けるために、
使^{つか}ったものは何^{なん}でしょう。つぎの中からえらびましょう。

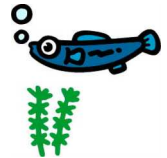
くるま ヨット ベッド ワニ

(赤坂町立石相小学校 1年生)

こんな本です

迷子^{まいご}になっためだかのこ^{たす}を、みんなで助けてあげたところ
がよかったです。(熊山町立桜が丘小学校 1年生)

そらまめくんは、自分^{じぶん}のものがぬれるのが嫌^{いや}でこがなかったのに、
めだかのこ^{たす}を助けるためには、喜^{よろこ}んで自分^{じぶん}のものを使^{つか}っていたので
やさしいなあとおもいました。(赤坂町立石相小学校 1年生)



なかやみわさん^{おも えほん}の主な絵本には、「そらまめくんのベッド」シリーズ、
『はりねずみのはりこ』、『だれかな？だれかな？』(福音館書店)、
『くれよんのくろくん』(童心社)などがあります。

また、「きりかぶ」シリーズ(偕成社)は、もう花も葉っぱもつけられない
切り株^{きりかぶ}をとおしての心^{こころ}あたたかくなるお話^{はなし}です。『きりかぶ』、『きりかぶ
のたんじょうび』、『きりかぶのともだち』の3作品です。



本の表紙

チラホラもりの はいしゃさん

舟崎克彦 作 黒井 健 絵
ポプラ社

Q.23

クリスマスにケチャップ先生のしんさつしつにサンタクロースがやってきました。

さて、先生はプレゼントがもらえないサンタさんに何をあげたのでしょうか。

(瀬戸町立江西小学校 2年生)



こんな本です

やさしい先生と森のいろいろな動物たちとの楽しいお話です。
(瀬戸町立江西小学校 2年生)

チラホラ森に初めての歯医者さん、ケチャップ先生がやって来ました。カバさんやアライグマさんたちの診察で大忙しの毎日です。

舟崎克彦さんの作品には、「ほっぺん先生物語」シリーズ、「ほっぺん先生の動物日記」シリーズ(筑摩書房)、「ポッケはべんりやくん」シリーズ(理論社)、「きょうりゅうがやってきた」シリーズ(くもん出版)などがあります。

絵本には『鬼ぞろぞろ』(偕成社)、『ぷっちんとちゃっぷん』(講談社)、『たなばたものがたり』(教育画劇)、『るすばんおばけ』(佼成出版社)、『かぜひきたまご』(講談社)、『もぐらのムックリ』(ひさかたチャイルド)、『ネギでちゅ』(ポプラ社) などがあります。



本の表紙



Q.24



でこちゃんの本^{ほん}当^{とう}の名^な前^{まえ}は「でこちゃん」。では、どうして「でこちゃん」と呼^よばれるようになったのでしょうか。

つぎの中^{ちゆう}からえらびましよう。

呼^よびやすいから
お母^{かあ}さんが前^{まえ}髪^{がみ}を切^きりすぎたから
めんどくさいから

(倉敷市立中洲小学校 2年生)



この絵本^{えほん}の中^{ちゆう}の商店街^{しょうてんがい}は、いろいろな人がいて、おもしろいです。例^{たと}えば、忍^{にん}者^{じゃ}とかおすもうさんとかが出てきます。楽^{たの}しいので、ぜ^ひひ読んでみて^たください。

(倉敷市立中洲小学校 2年生)



はずかしくてもう幼稚園^{ようちえん}に行^いきたくない、とわがママを言^いい出したでこちゃんに、お姉^{ねえ}ちゃんがとでもすてきなおまじないをしてくれ^ます。

『でこちゃん』の続^{ぞく}編^{へん}、『でこちゃん^らすたくん』を紹^{しょう}介^{かい}します。

いとこのらすたくんが、でこちゃんの家^{いえ}に遊^{あそ}びに来^きます。家^か族^{ぞく}みんなが、らすたくんばかりにかまうので、でこちゃんはち^ともおもしろくあり^ません。さて、2人は友^{とも}だちになれるのでしょうか。

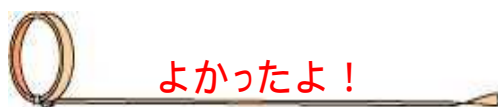
本の表紙



ともだちや

内田麟太郎 作 隆矢なな 絵
偕成社

Q.25



キツネは、ともだちやさん^{はじ}を始めて、
オオカミからどんな宝物^{たからもの}をもらったで
しょう。

(笠岡市立神島外小学校 2年生)

キツネがともだちやさん^{はじ}を始めて、クマに自分の嫌いな
食べものばかり^たをもらって、
いやがったところがおもしろ
かったです。それから、オオカ

ミと仲良し^{なかよ}の友だち^{とも}になったところがよかったです。

(笠岡市立神島外小学校 2年生)



キツネにオオカミ^{とも}の友だち^{とも}ができてよかったです^{おも}と思いました。
キツネのともだちやが何時間でもただになったのがよかったです。

(熊山町立桜が丘小学校 2年生)

「おれたち、ともだち！」シリーズ(偕成社)は、

『ともだちや』、『ともだちくるかな』、『あしたもともだち』、『ごめんねともだち』、

『ともだちひきとりや』、『ありがとうともだち』などがあります。

こころ ^{はなし}
心あたたまるお話をばかりです。

うちだりんたるう ^{ふくおかけん}
内田麟太郎さんは1941年福岡県生まれ。

しじん ^{ちち} ^{えいきょう} ^う ^し ^か
詩人であった父の影響を受け、詩を書き

はじめるようになりました。作品としては、

『さかさまライオン』(童心社)、『うそつきのつき』(文溪堂)などがあります。

